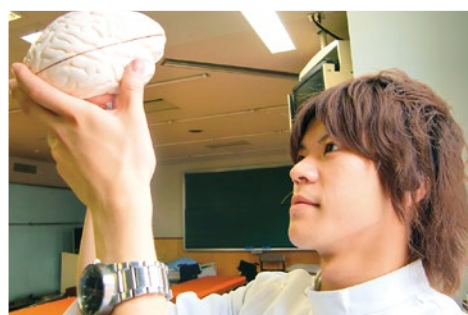


作業療法学専攻

Occupational Therapy



リハビリテーションの専門職

Occupational Therapist “OT” になれる場所

教育の特徴

1

少人数制による丁寧な指導と参加型の主体的な学び

- 1学年25人の少人数制を活かし、演習・実習を豊富に取り入れています。
- グループでの話し合いや発表を用いて、学生が積極的な学びの姿勢を身につけるように授業カリキュラムを編成しています。



演習授業の様子



グループによる課題発表

2

幅広い経験ができる充実した臨床実習

- **世界作業療法連盟 (WFOT) 養成施設認可基準**を満たす実習時間数を確保しています。
- 学年が進むごとに見学実習、評価実習、治療実習へと進みます。
- 身体障害・精神障害・発達障害・老年期障害、地域など幅広い領域の実習を行います。特に、4年次の治療実習において、3領域の実習を経験できます。
- 実習前には実習指導者を本学に招き、実習について事前会議を行い、密接な連携を図っています。
- 自宅もしくは下宿から通える近畿圏内の実習施設を確保しています。



実習指導者との事前会議

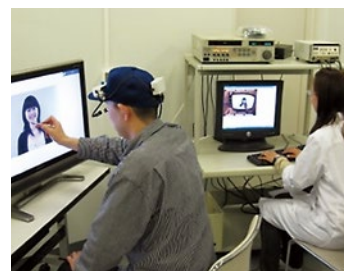
3

知識と技術さらに研究能力を備えた人材の育成

- 3年次より研究法を学び卒業研究を進めます。
- 卒業後は、本学大学院に進学して研究を続けることもできます。



卒業研究審査会



卒業研究の様子

4

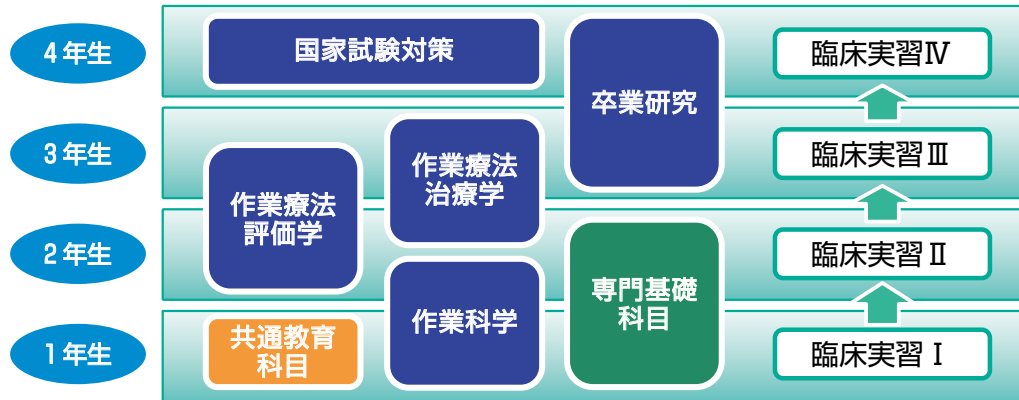
地域連携による実践教育

地域の障がい者やそのご家族を招いた授業や実習など、地域と連携した実践的な教育を展開しています。



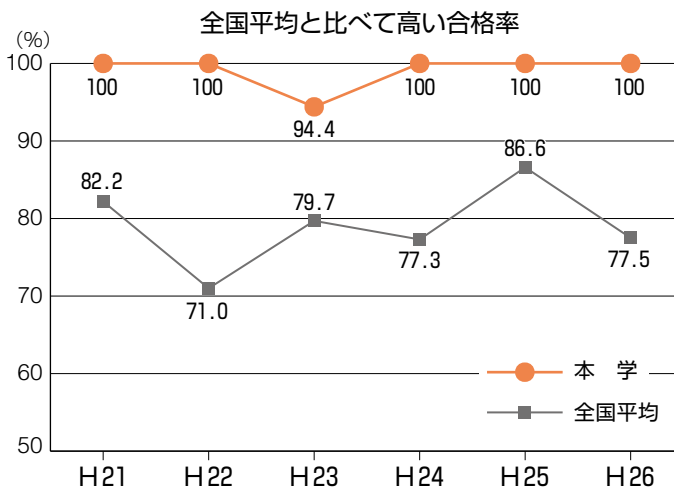
対象者を招いた実践的な授業

カリキュラム



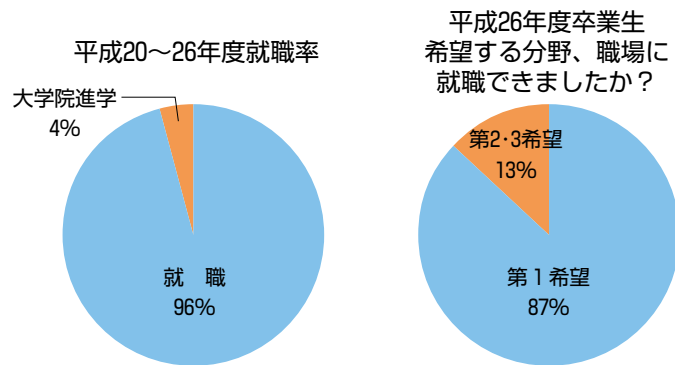
国家試験

学内で模擬試験を行うなどきめ細かな国家試験対策を実施しています。また、学生が主体的にグループで国家試験勉強ができるよう環境を整えています。



卒業後の進路

多くの学生が希望する分野、職場に就職できています。卒業生は、主に近畿圏内の病院やリハビリテーションセンターに就職し、現在、作業療法士として立派に働いています。



主な進路

〈将来の主な進路〉

病院
リハビリテーション機関
福祉施設・特別支援学校
公務員
大学院への進学

〈主な就職先・進学先〉

- ・大阪府立病院機構 成人病センター
- ・大阪府立急性期総合医療センター
- ・北大阪警察病院
- ・大阪鉄道病院
- ・大阪市更生療育センター
- ・大阪発達総合療育センター
- ・兵庫県立総合リハビリテーションセンター
- ・奈良県総合リハビリテーションセンター
- ・琴ノ浦リハビリテーションセンター
- ・宝塚リハビリテーション病院
- ・ボバース記念病院
- ・東大寺福祉療育病院
- ・東海記念病院
- ・大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科

在校生の声 ～私達がここでOTを志す理由～

平成26年度入学 堀川 陽一郎さん

大阪府立大学の作業療法学専攻は1学年25人の少人数制であるのが魅力です。少ない人数なのですぐに友達ができ、絆も深まります。僕自身、個性的な仲間と囲まれて日々充実した生活を送っています。勉強は難しいですが、仲間と一緒に切磋琢磨することで乗り越えています。

他の大学では同じ専攻での縦のつながりがあまり見られませんが、この専攻は、懇親会や合宿など先輩と交流できる機会がたくさんあります。同期の仲間同士では得ることができない勉強や臨床実習などについてのアドバイスや情報をもらうこともできちゃいます！また、先輩だけでなく先生方との心の距離が近く、些細なことでも相談することができるので、安心して大学生生活を送ることができます。みなさんもこの素晴らしい大学で学んでみませんか？



平成25年度入学 川合 真未さん

この大学での生活は、とても充実していて、毎日がとても楽しいです。作業療法士になるための勉強は決して楽なものではありませんが、レベルが高く、中身の濃い授業は、時に楽しく、時に真面目に受けることで作業療法のやりがいや奥深さを感じることができます。作業療法は知れば知るほどおもしろいです。

また、一学年の人数が少ないため、縦と横のつながりが深くなり、専攻全体が家族のように仲が良いです。先生方、先輩方、同回生から良い刺激をもらえる機会も多いので、作業療法に対する意欲も高まります。

この大学で過ごす4年間は自分たちにとって生涯の財産となることは間違いないです。私は新潟県出身ですが、大阪まで来てこの大学に入学して良かったと思っています。

あなたも府大に来て、同じ夢を志す仲間とともに目標に向かい、高い意識を持って大学生生活を楽しみませんか。



卒業生の声 ～私達が感じるOTの魅力～



石丸 大貴さん(平成26年度卒業)

私は卒業後に病院に就職すると同時に大学院にも進学しました。進学した理由は、臨床実習や学校の講義を通して、臨床現場には多くの疑問が転がっておりそれは未だ解決されていないことが多いということを知ったからです。そして、それらに取り組むことで今後の作業療法分野に貢献できるのかな？と思い、働きながらの進学を決めました。

現在は、日々の臨床現場で患者様に関わり元気に生活を送ってくださる姿を見てやりがいを感じつつ、大学院の研究でも臨床での疑問に少しずつ取り組み充実感を感じています。

この大学は多くのことが学べ経験することができるだけでなく、4年間苦楽を共にすることで良い仲間にも出会えると思います。卒業後も交流は今も続いており、お互いを高めあう事が出来ています。みなさんも多くのことを学べ、良い仲間に出会える大阪府立大学に是非来ませんか？



佐藤 夏紀さん(平成21年度卒業)

この大学は、非常に多くのことが学べ、経験することができる環境だと思います。大学の特色の一つである専門性に優れた諸先生方の講義では、作業療法の基礎から実践までの濃い知識を得ることが可能です。作業療法研究の動向などの興味深い話も立ち話の中で聞けたりもします。また、専攻の学生数が少ないという特色もあり、苦楽を共にすることで、より親密で、且つ高めあえる仲間ができます。僕は発達障害領域で働き始め数年が経ちますが、どうすれば作業療法士として、より質の高い作業を子どもたちに提供できるかを日々考えています。みなさんも是非、大阪府立大学で学び、ともに臨床家として作業療法の未来を考えていきませんか。



塩田 千紘さん(平成24年度卒業)

大阪府立大学の作業療法学科は少人数で4年間を過ごすため、仲間の絆が非常に深まります。勉強や実習などが大変な時期でも、互いに助け合い、高め合うことが出来ました。常に一緒に過ごした仲間だからこそ、卒業し働き始めても月1回の勉強会で作業療法を深めたり、年1回のキャンプやクラス会で学生時代に戻って楽しんだり交流が続いています。また、いつでも相談でき、卒業してからも大学に帰りたくなる先生方がいらっしゃる所も魅力の一つです。